

# VXL1-16P Firmware

## 主なアップデート内容

### V2.8.0

#### V2.8.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

#### V2.5.1 で修正した不具合

- VXL1-16P を AES67 規格でパッチした状態で VXL1-16P を再起動すると、パッチが消えてしまうことがある問題を修正しました。Dante デバイス同士では問題ありません。

#### V2.5.0 の新機能

- ネットワークホスト名を変更できるようになりました。設定にはリモートコントロールプロトコルを使用します。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 2.5.0 を参照してください(後日、ADECIA のウェブサイトに掲載予定)。

#### V2.0.0 の新機能

- AES67 に対応しました。

#### V2.0.0 の改善点

- リモートコントロールにて、コマンド文字列の最初または最後に不要なスペースが入っていても、コマンドが正しければ受け付けるように修正しました。
- リモートコントロールにて、1~127 の UNIT ID を使用できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 V2.0.0 を参照してください。

## V1.2.0 の新機能

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って IP アドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しました。ADECIA RM-CR と組み合わせた環境で使用できます。

## V1.1.0 の新機能

- RM シリーズに対応しました。
- RM-CR の Web UI を利用することで、RM-CR からの発見・自動パッチが動作するようになりました。

## V1.1.0 で修正した不具合

- 使用する PoE 対応スイッチと他の PoE 対応機器の組み合わせによっては、VXL1-16P 本来の性能以下の音量で動作する不具合を修正しました。

## お知らせ

- 新しいファームウェアを有効にし、音声ルーティング等の設定をリストアするために、アップデートした Dante 機器の電源を切り、そのあと再投入します。電源を再投入、もしくは再起動するまでは、ファームウェアのアップデートは適用されません。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。  
ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。  
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。

## V2.5.1

### V2.5.1 で修正した不具合

- VXL1-16P を AES67 規格でパッチした状態で VXL1-16P を再起動すると、パッチが消えてしまうことがある問題を修正しました。Dante デバイス同士では問題ありません。

### V2.5.0 の新機能

- ネットワークホスト名を変更できるようになりました。設定にはリモートコントロールプロトコルを使用します。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 2.5.0 を参照してください(後日、ADECIA のウェブサイトに掲載予定)。

### V2.0.0 の新機能

- AES67に対応しました。

## V2.0.0の改善点

- リモートコントロールにて、コマンド文字列の最初または最後に不要なスペースが入っていても、コマンドが正しければ受け付けるように修正しました。
- リモートコントロールにて、1~127のUNIT IDを使用できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 V2.0.0を参照してください。

## V1.2.0の新機能

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使ってIPアドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0を参照してください。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol)に対応しました。  
ADECIA RM-CR と組み合わせた環境で使用できます。

## V1.1.0の新機能

- RMシリーズに対応しました。
- RM-CRのWeb UIを利用することで、RM-CRからの発見・自動パッチが動作するようになりました。

## V1.1.0で修正した不具合

- 使用するPoE対応スイッチと他のPoE対応機器の組み合わせによっては、VXL1-16P本来の性能以下の音量で動作する不具合を修正しました。

## お知らせ

- 新しいファームウェアを有効にし、音声ルーティング等の設定をリストアするために、アップデートした Dante 機器の電源を切り、そのあと再投入します。電源を再投入、もしくは再起動するまでは、ファームウェアのアップデートは適用されません。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。  
ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。  
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。

## V2.5.0

### V2.5.0 の新機能

- ネットワークホスト名を変更できるようになりました。設定にはリモートコントロールプロトコルを使用します。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 2.5.0 を参照してください(後日、ADECIA のウェブサイトに掲載予定)

### V2.0.0 の新機能

- AES67 に対応しました。

## V2.0.0 の改善点

- リモートコントロールにて、コマンド文字列の最初または最後に不要なスペースが入っていても、コマンドが正しければ受け付けるように修正しました。
- リモートコントロールにて、1～127 の UNIT ID を使用できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 V2.0.0 を参照してください。

## V1.2.0 の新機能

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って IP アドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しました。ADECIA RM-CR と組み合わせた環境で使用できます。

## V1.1.0 の新機能

- RM シリーズに対応しました。
- RM-CR の Web UI を利用することで、RM-CR からの発見・自動パッチが動作するようになりました。

## V1.1.0 で修正した不具合

- 使用する PoE 対応スイッチと他の PoE 対応機器の組み合わせによっては、VXL1-16P 本来の性能以下の音量で動作する不具合を修正しました。

## お知らせ

- 新しいファームウェアを有効にし、音声ルーティング等の設定をリストアするために、アップデートした Dante 機器の電源を切り、そのあと再投入します。電源を再投入、もしくは再起動するまでは、ファームウェアのアップデートは適用されません。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。  
ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。  
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。

## V2.0.0

### V2.0.0 の新機能

- AES67 に対応しました。

### V2.0.0 の改善点

- リモートコントロールにて、コマンド文字列の最初または最後に不要なスペースが入っていても、コマンドが正しければ受け付けるように修正しました。
- リモートコントロールにて、1~127 の UNIT ID を使用できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 V2.0.0 を参照してください。

### V1.2.0 の新機能

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って IP アドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しました。ADECIA RM-CR と組み合わせた環境で使用できます。

## V1.1.0 の新機能

- RM シリーズに対応しました。
- RM-CR の Web UI を利用することで、RM-CR からの発見・自動パッチが動作するようになりました。

## V1.1.0 で修正した不具合

- 使用する PoE 対応スイッチと他の PoE 対応機器の組み合わせによっては、VXL1-16P 本来の性能以下の音量で動作する不具合を修正しました。

## お知らせ

- 新しいファームウェアを有効にし、音声ルーティング等の設定をリストアするために、アップデートした Dante 機器の電源を切り、そのあと再投入します。電源を再投入、もしくは再起動するまでは、ファームウェアのアップデートは適用されません。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。  
ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。  
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

- 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
- 31 文字まで対応しています。

## V1.2.0

### V1.2.0 の新機能

- ・ リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って IP アドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください。
- ・ 遠隔管理用プロトコル SNMP(Simple Network Management Protocol)に対応しました。ADECIA RM-CR と組み合わせた環境で使用できます。

### V1.1.0 の新機能

- ・ RM シリーズに対応しました。
- ・ RM-CR の Web UI を利用することで、RM-CR からの発見・自動パッチが動作するようになりました。

### V1.1.0 で修正した不具合

- ・ 使用する PoE 対応スイッチと他の PoE 対応機器の組み合わせによっては、VXL1-16P 本来の性能以下の音量で動作する不具合を修正しました。

### お知らせ

- ・ 新しいファームウェアを有効にし、音声ルーティング等の設定をリストアするために、アップデートした Dante 機器の電源を切り、そのあと再投入します。電源を再投入、もしくは再起動するまでは、ファームウェアのアップデートは適用されません。

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。  
ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。  
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。

## V1.1.0

### 新機能

- RM シリーズに対応しました。
- RM-CR の Web UI を利用することで、RM-CR からの発見・自動パッチが動作するようになりました。

### 修正した不具合

- 使用する PoE 対応スイッチと他の PoE 対応機器の組み合わせによっては、VXL1-16P 本来の性能以下の音量で動作する不具合を修正しました。

### お知らせ

- 新しいファームウェアを有効にし、音声ルーティング等の設定をリストアするために、アップデートした Dante 機器の電源を切り、そのあと再投入します。電源を再投入、もしくは再起動するまでは、ファームウェアのアップデートは適用されません。

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。  
ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。  
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。